国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和８年６月２２日
青森河川国道事務所

岩木川水系
馬淵川水系　渇水情報連絡会定例会を開催します

～渇水期を前に関係機関と情報交換し連携強化を図ります～

岩木川水系及び馬淵川水系の河川は、かんがい、水道、発電等に利用されており、渇水時にはこれらの水利用や魚の生息、水質悪化などの河川環境への悪影響が心配されます。
そのため、利水・環境関係機関や河川管理者で構成する渇水情報連絡会を設立し、相互の情報・意見交換を行っております。
今年度も夏場の渇水期を前に、河川の流況や各ダムの貯水状況、利水見通し等について情報交換をするため、下記の日程で定例会を開催しますので、お知らせします。

◆岩木川水系渇水情報連絡会定例会（構成機関は別紙）
１．日　時　令和８年６月２５日（木）１０時３０分～１１時３０分
２．場　所　青森河川国道事務所　２階災害対策室（関係機関とのＷＥＢ会議形式）
３．内　容　・気象概要、今後の気象予報等（青森地方気象台）
・岩木川の流況（青森河川国道事務所）
・浅瀬石川ダム及び津軽ダムの現況（岩木川ダム統合管理事務所）
・青森県管理ダムの状況（青森県河川砂防課・農村整備課）
・各機関からの情報提供等

◆馬淵川水系渇水情報連絡会定例会（構成機関は別紙）
１．日　時　令和８年６月２５日（木）１３時３０分～１４時３０分
２．場　所　青森河川国道事務所　２階災害対策室（関係機関とのＷＥＢ会議形式）
３．内　容　・気象概要、今後の気象予報等（青森地方気象台）
・馬淵川の流況（青森河川国道事務所）
・大志田ダムの現況（北上土地改良調査管理事務所）
・各機関からの情報提供等

◆取材申込みについて
・取材を希望される報道機関におかれましては、別紙登録用紙に必要事項を記入の上、６月２４日（水）１６時までに電子メールにてご連絡いただきますようお願いします。

〈発表記者会　：　青森県政記者会、津軽新報社、建設関係専門紙各社〉

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
電話　０１７－７３４－４５２１（代表）
副所長（河川担当）　武田（たけだ）　桂輔（けいすけ）　（内線２０４）
河川管理課長　福士（ふくし）　高義（たかよし）　（内線３３１）

岩木川水系渇水情報連絡会　構成機関

No.	機　　関　　名	
1	青森県　県土整備部　河川砂防課	○
2	青森県　県土整備部　都市計画課	
3	青森県　環境エネルギー部　環境政策課	
4	青森県　農林水産部　農村整備課	○
5	青森県　農林水産部　農産園芸課	
6	青森県　農林水産部　水産局　水産振興課	
7	青森県　西北県土整備事務所	
8	青森県　中南県土整備事務所	
9	弘前市　上下水道部　上水道施設課	
10	五所川原市　上下水道部　水道課	
11	津軽広域水道企業団　津軽事業部　浄水課	
12	久吉ダム水道企業団	
13	東北電力（株）　青森発電技術センター	
14	青森地方気象台	
15	東北農政局　津軽土地改良建設事務所	
16	東北農政局　津軽土地改良建設事務所 津軽北部二期農業水利事業建設所	
17	東北農政局 北奥羽土地改良調査管理事務所	
18	東北地方整備局　岩木川ダム統合管理事務所	
19	東北地方整備局　青森河川国道事務所	◎

※　会長及び副会長　　◎・・・会長　　○・・・副会長

馬淵川水系渇水情報連絡会　構成機関

No.	機　　関　　名	
1	青森県　県土整備部　河川砂防課	○
2	青森県　県土整備部　都市計画課	
3	青森県　環境エネルギー部　環境保全課	
4	青森県　農林水産部　農村整備課	○
5	青森県　農林水産部　農産園芸課	
6	青森県　農林水産部　水産局　水産振興課	
7	青森県　県土整備部　整備企画課	
8	青森県　三八県土整備事務所	
9	青森県　八戸工業用水道管理事務所	
10	岩手県　県土整備部　河川課	○
11	岩手県　環境生活部　県民くらしの安全課	
12	岩手県　環境生活部　環境保全課	
13	岩手県　農林水産部　農村計画課	○
14	岩手県　農林水産部　水産振興課	
15	岩手県　盛岡広域振興局　土木部　岩手土木センター	
16	岩手県　県北広域振興局　土木部　二戸土木センター	
17	八戸圏域水道企業団　浄水課	
18	二戸市水道事業所	
19	一戸町　産業建設部　上下水道課	
20	東北電力（株）　岩手発電技術センター	
21	東北電力（株）　青森発電技術センター	
22	青森地方気象台	
23	東北農政局 北上土地改良調査管理事務所	
24	東北地方整備局　青森河川国道事務所	◎

※　会長及び副会長　　◎・・・会長　　○・・・副会長

《参考》令和7年渇水の振り返り（青森県関係）

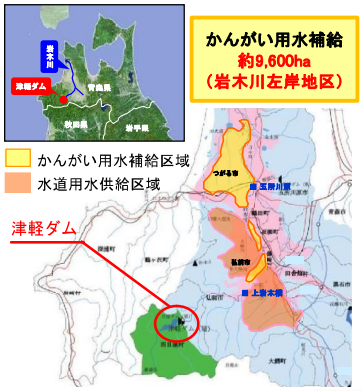
渇水における津軽ダムの効果

国土交通省 東北地方整備局

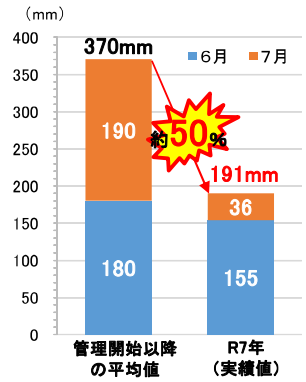
◆津軽ダム流域の6～7月降水量は、**H29（2017）年管理開始以降の平均に対して約50%**と少なく、特に**7月は同管理開始以降の最少値となる36mm/月（平均に対して約19%）を記録**した。
◆少雨の影響により、貯水位は7月上旬～8月上旬にかけて**平年を下回り急激に低下**し、**8月17日には今期最低の貯水率18．3%（平均※1に対し－32．2%pt）まで低下**した。
◆かんがい用水、水道用水、河川維持用水の安定供給のため**多様な関係者との調整・連携**により、**6月～8月で総量約60百万立方メートル（東京ドーム約49杯分）の利水補給を実施**した。
（目屋ダムが利水補給していた場合は7月4日で貯水率がゼロとなり出穂期（7/28～8/8）の補給が不能となったものと推測）

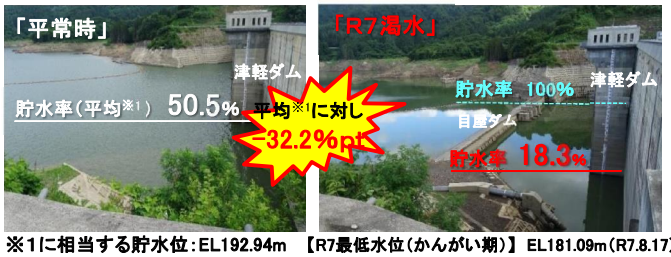
※1　管理開始以降8ヶ年（H29～R6）の8月17日　9時時点における貯水率の平均

津軽ダムからの用水補給区域

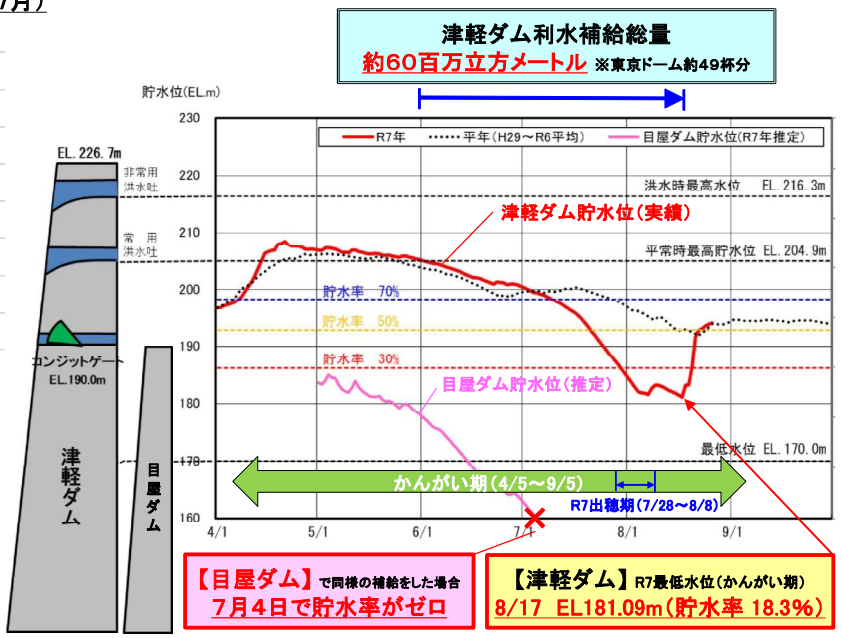


津軽ダム流域降雨量（6～7月）





津軽ダム貯水池運用実績図（令和7年）



【目屋ダム】で同様の補給をした場合 7月4日で貯水率がゼロ

【津軽ダム】R7最低水位（かんがい期） 8/17 EL181.09m（貯水率 18.3%）

※1に相当する貯水位：EL192.94m　【R7最低水位（かんがい期）】EL181.09m（R7.8.17）

岩木川水系多様な関係者との連携により、かんがい用水を継続補給

国土交通省 東北地方整備局

◆岩木川水系では、津軽ダム流域の少雨（7月の降水量が平年の約2割）をカバーすべく多様な関係者が連携。

◆水系内のダムの限られた水を効果的に活用すべく、それぞれ以下の取組を実施。

1. 国土交通省管理ダム及び青森県管理ダムからの放流量のきめ細かな調整（国：津軽ダム・浅瀬石川ダム、県：相馬ダム・浪岡ダム）
2. 水利使用者（農林水産省）からの水利使用変更協議に対する柔軟な対応（小田川ダム、二庄内ダム ）
   ※ダム流域や受益地（農地）の降水量が基準年を下回っていること等をもって対応
3. 下流かんがい用水取水者における自主節水 （岩木川統合頭首工、浅瀬石川第一頭首工等）

取組	施設名	運用（支援等）状況
1	津軽ダム（国交省）	放流量のきめ細かな調整 （ダム間で連携し、各ダムの貯留量を考慮しつつ、下流への放流量を調整）
	浅瀬石川ダム（国交省）	
	相馬ダム（県）	
	浪岡ダム（農水省_県管理）	
2	小田川ダム（農水省_県管理）	柔軟な対応（水利使用変更により年間総取水量を増量）
	二庄内ダム（農水省_県管理）	柔軟な対応（水利使用変更により最大取水量を増量）
3	岩木川統合頭首工 等	自主節水（取水減量・番水制）
	浅瀬石川第一頭首工 等	自主節水（取水減量）







※資料出典：東北地方整備局ＨＰ
「https://www.thr.mlit.go.jp/bumon/b00037/k00290/river-hp/kasen/damu/R7gaiyou.pdf」

別紙登録用紙

電子メール送付先　：　thr-721kawakan@ki.mlit.go.jp

青森河川国道事務所　河川管理課　行き

岩木川水系・馬淵川水系　渇水情報連絡会定例会
取材登録書

標記について、取材をご希望の報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。

以下に必要事項を記入のうえ、電子メールにて送付をお願いします。

電子メール送付期限　：　６月２４日（水）１６時まで

１．取材を希望される渇水情報連絡会定例会について、下記に「○」を記入してください。

岩木川水系	馬淵川水系

２．報道機関名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．取材者等

(1) ご氏名　（代表者のみ）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 連絡先　ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 取材人数　（代表者を含む）＿＿＿＿＿＿人＿＿＿＿＿＿

(4) テレビカメラの有無　＿有　・　無＿　「有」の場合　＿＿台＿

【取材に関する留意事項】

・受付にて記名をお願いします。